

全日本ダートトライアル第8戦、'95ラリーアート賞「ドライバー・オブ・ザ・イヤー」

## CMSC 群馬 荒井信介選手 全日本ダートラ 第8戦 を制し逆転で シリーズチャンプに!! ラリーアート・ドライバー・オブ・ザ・イヤーも獲得



写真左 第8戦優勝へ向けて荒井選手の快走。  
写真上 第8戦優勝で逆転チャンプに満面の笑顔。  
写真下 二重の喜び。ラリーアートドライバーオブザイヤーの表彰式。

### CMSC群馬 荒井信介 全日本ダートトライアル第8戦

今季の全日本ダートトライアルは前半戦鈴鹿で2位に入ったものの、なかなか自分の走りが出来ず、4戦終わった時はシリーズ10位ぐらいだったと思います。しかし北海道ラウンド終了後、自分で納得できない部分が解った様な感じがありました。第5戦が始まるまでの1ヶ月間、結構悩んだ結果、どうにか思うように走れるようになりました。丸和では運良く勝つ事が出来、波に乗れそうな雰囲気になってきました。残り3戦のうち一回は優勝したいと気合いも入ってきました。が、上手く噛み合わない。

## 念願のタイトル獲得

連続2位に入った事で優勝の望みは首の皮一枚残っていたものの、誰もこの首がくっつくとは想像していなかったでしょう。

シリーズチャンピオンを争う事となった最終戦の四国、自分では優勝するつもりでいったものの、こんな劇的な幕切れになるとは思いませんでした。運が良かっただけではなく私をサポートしてくれたキャロッセのサービスや、行動を共にしたメンバー全員のお陰で獲れた優勝そしてチャンピオンだと心より感謝しています。

全日本戦を始めて6年余り、あと一回優勝すれ

ばチャンピオンになれる所迄は行くが、その優勝ができず逃してきた念願のシリーズチャンピオン。やっと獲得出来ました。そしてこの度「ドライバー・オブ・ザ・イヤー」受賞の知らせをいただきました。二重の喜びをかみしめております。こうなれば後は連続チャンピオンになれる様に挑戦していきたいです。この場をお借りしてこれまでご支援頂いたラリーアート様、キャロッセ様、ヨコハマタイヤ様、KYB様、群馬三菱様に感謝したいと思います。有難うございました。'96年も斬れる走りで頑張りたいと思いますので応援宜しくお願いします。

### 全国CMSC会員の皆様、 明けましておめでとうございます。



1996年 元旦  
CMSC会長 外川一雄

皆様にとって昨年度は如何な年でしたか。低迷する景気の中とはいえ、それぞれ精一杯頑張ってそれなりに充実した年を過ごされたことと思います。また昨年は、一年見送った全国大会も再開され、元氣な皆様とお会いし、楽しい一日を過ごす事が

出来て大変嬉しく思っております。

さて今年のモータースポーツの活動計画も既に考えておられることと思いますが、我々本部といたしましても出来る限り皆様のお力添えになれるよう努力して、ご期待に応えたいと思います。本部も皆様もCMSCのメンバーであってよかったなと思える年になるよう、こぞってお互いに努力いたしましょう。お元氣でますますのご活躍をお祈りします。

## CMSC香川 10月7、8日

### CMSCダイヤスタートライアル



全日本ダートトライアル選手権'95CMSCダイヤスタートライアルを全日本戦の最終戦として主催しました。今季3度目の予選制でしたが、総参加台数は149台と予想を上回るエントリーでした。今回は2回目ということで、コース整備その他の準備も順調に進みました。しかし、9月までの雨なし四国

# 雨にたたられた2日間

## CMSCダイヤスタートライアル

全日本ダートトライアル選手権 最終戦



写真左 地元開催で6位健闘の高竹選手の走り。  
写真中上 開会式  
写真中右 コース説明 写真右 ラジエーター冷却隊

から一転、10月1日には大雨洪水警報が出され、今年も雨にたたられる結果となりました。

7日の予選はコース整備をしたにもかかわらず路面は以前にも増して荒れ、有力選手が予選落ちするなどのハプニングも起きました。しかし、決勝当日はコースの方は何とか持ちこたえ、2ヒート目

にタイムアップする選手が続出。たくさんのドラマが生まれました。結果の方は、皆さん雑誌等で御存知だと思いますので、省略します。

四国でも常設コースが出来たら、また全日本戦を開催したいと思いますので宜しくお願いします。

(CMSC香川 白井 修)

## CMSC岩手 10月15日

### スリーダイヤジムカーナ

今大会は県シリーズ最終戦として開催しました。前々戦は参加台数が少なく、前戦は中止、今回もどうなることかと思われましたが、CMSC青森はじめ近県からの参加も多く、84台もの参加がありました。岩手三菱自動車をはじめスポンサーの皆様のお陰で、豪華な賞品の山がエントラントには好評でした。特に恒例となりつつあるジャンケンによるテレビカストーブの争奪戦はジムカーナ以上に白熱し

# 紅葉のもと大盛況の一日

た？戦いでした。

一方競技の方ですが、こちらは気仙沼から参加の某、羽生徹選手がエゴⅢでAⅢオーバーオール、三菱賞獲得と、皆からは「反則だ!」の声もちらり。

とにかく天気も最高で、裏岩手山の紅葉と大盛況の大会でエントラントの方々にも、また当クラブとしても満足のいく一日でした。

(CMSC岩手 坂本徳四郎)



## CMSC青森 9月17日

### CMSC青森ジムカーナ

'95CMSC青森ジムカーナは6、7月、そして最終の第3戦を9月17日に開催しました。青森県内でジムカーナの出来る場所は我々CMSC青森で使っている岩木山スキー場の駐車場を利用した特設コースだけです。コース的に狭く競技を開催する側としてはちょっと物足りませんが、練習走行にも自由に使うことが出来、又、管理している岩木町のご理解もあり、ジムカーナを楽しみにやってくるクラブ員や仲間も多く、主催者としては喜んでいます。

さて、ジムカーナの最近の傾向として、公認部門が少くクロード部門が多くなってきました。クロード部門から公認部門へとステップアップして、ジムカーナ発展の為、大いに奮起し盛り上げてもらいたいです。岩木山のコースで走り込み、地区戦や全日本戦で活躍している選手も多くおります。次に続く選手が一人でも多く出てくることを期待すると

# ジムカーナを楽しもう



ともに、サンデースポーツとして楽しむ多くのモータースポーツファンの参加もお待ちしております。

尚、'96CMSC青森ジムカーナの開催は5月26日、6月23日、8月11日の3戦を予定しております。もちろんクロードクラスも併設しますので気軽にご参加を! (CMSC青森 小館 久)

## CMSC青森総会&忘年会



去る11月25日に総会を開催しました。年に一回の総会でもあり久々に顔を見せる者も何名かおり、終始和やかな中で95年度の活動、会計報告、そして96年度の計画、役員改選と進められ総会は速やかに終了。続く忘年会は例年になく静かな雰囲気、クラブ員の紳士の一面(本当の姿)を見せていました。96年もみんなでモータースポーツを楽しみましょう。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)

## CMSC鹿児島 設立後の活動報告

'95年7月に誕生した当クラブも早いもので半年が過ぎました。実際イベントに参加した人数はまだ少ないですが、ラリー、ダートラの各競技で成績を残す事が出来ました。その他のメンバーも初の

# 全てに積極的に活動したい

イベント出場を目指し準備に追われる日々でした。右も左もわからず慌てふためいていた当クラブのスタートでしたが、各個人のモータースポーツへの意欲がますます高まり良いスタートができたと思います。今年も引き続きイベント出場はもちろんです、ク

ラブ員増員に力を入れて、頑張っていきたいと思ひます。

(CMSC鹿児島

肥後節子)



## CMSC仙台 11月19日

### 冬本番耐寒トライアル'95

冬本番耐寒トライアル'95（県シリーズ第7戦）を開催しました。タイトル名とはうらはらに、ぽかぽか陽気になった仙台ハイランドオフロードコースには宮城県シリーズ最終戦に挑む74台のエントリー車が集まって来ました。CMSC仙台のダートラと言えば雨もしくは豪雨の中というイメージが強く、その日は皆口々に「7年目にしてやっと晴天で、あと10年はこういう天気はない!!」と断言したほど、ことごとく天気には恵まれないクラブなのです。

さて仙台ハイランドコースはハイスピードが出る位のロングストレートのコースです。天気も良かったのでエントラントのスピードもかなり乗り、一回転する車も数台出ましたが、心配する程のケガにははいたらず元気いっぱいでした。CMSC本部から田口雅生さんをテクニカルアドバイザーとして呼び、当日一

# 7年目にしてやっとの晴天



人一人の走りのチェックとコメントをいただきました。ランサーエボリューションとミラージュの台数も多く、三菱車勢も上位を占めていました。

今回開催してとても嬉しかった事は同じ東北のCMSC岩手、CMSC福島の皆さんに多数エントリーして頂いたという事です。「クラブの交流を大切にしていきたい!!」今回はそういう事を含め大成功でした。また来季県シリーズとして開催致しますので宜しくお願いします。（CMSC仙台 初田昌子）



写真上 ラリーリストの四戸選手（CMSC岩手）  
写真下 唯一の女性参加千代川選手（CMSC岩手）

## CMSC山形 9月3日

### CMSC山形ジムカーナ

山形蔵王リゾートサーキットにて、東北選手権シリーズ第9戦CMSC山形ジムカーナを開催しました。ダートラ同様ジムカーナの方も参加台数が年々減っている中で、前は76台、今回は92台と少しですが台数が増え一安心しました。

さて競技の方ですが朝から小雨が降ったり止んだりウェットコースとなってしまう、全車レインタイヤでのトライとなりました。コースは前半の内周をパイロンでZAOという文字を描き、後半は外周を回り

# 「ZAO」のコースで三菱車活躍

スラロームでゴールとなる様に設定しましたが、参加者はほとんど理解（ZAOを）出来なかった様でした。しかし多少のミスコースなどがありましたが最後まで大きな問題もなく、無事終了することが出来ました。AⅢクラスではミラージュが上位に2台入り、AⅣクラスではランサーエボが上位6台中5台を占め、改造クラスでも三菱車が何台か上位に入りました。我々としましても納得のいく競技会になったと思っています。

（CMSC山形 菅野 茂）



## CMSC山形 10月22日

### CMSC山形ダートトライアル

山形県大石田ダートサーキットにて山形県シリーズ第3戦CMSC山形ダートトライアルを開催しました。山形県のダートラは非常に参加台数が少なく、第1戦、2戦と30台弱で今回も26台と寂しい限りでした。こうなる事は多少なりとも前から予測出来ていたもので、参加してくれたみんなには満足のいく競技会になるようにと思いました。

# 台数少なくとも充実の競技会

台数が少ない分コースを長め（2分強）に設定したり、慣熟歩行それにウォームアップ走行もやってみました。東北地方ではあまりやらないので少し不安はありましたが、これが意外と好評でこれからもやっていきたいと思っています。

結果の方はAⅢでミラージュが2・4位、AⅣでギャランVR-4が1・3・6位でした。まだまだギャランもいけそうです。（CMSC山形 菅野 茂）



総合優勝の加藤選手ギャランVR-Ⅳ

## CMSC道北 田口 玲 JAF CUPジムカーナ参戦記

今季最後のビックイベント'95JAF CUPジムカーナは快晴の中、三重県の鈴鹿サーキット（南コース）で11月4、5日に開催されました。強者を集めたこのイベントで総勢200名が激しい戦いを繰り広げました。私のエントリーしているクラスAⅡは打倒ホンダということで、4日の公式練習を2トライ行った後、翌日の決勝に向けてのセッティングも決まりませんでした。CMSC道北からはAⅡ 大久保、山下、両選手、AⅢ 丹羽選手、レディース小寺選手がエントリーしており、決勝前夜はビデオを見ながら皆真剣でした。

# 激しい戦いの中で3位に!

そしていよいよ決勝の1トライ目。スタート寸前にフロントタイヤのエア圧を合わせるのを忘れていたのに気づき、「あ〜あ俺は何をやっているんだ」と思いましたが気にせず全開トライ。2ヶ所程ミスはありましたがまずまずで、1トライ目を2位で終わりました。2トライ目。一本目のミスした所を考えたこの車での最後の走りに集中。しかし走っていても今一つ手がたえない。「ちきしょ〜う」と思いゴール。一本目よりコンマ一秒タイムダウン。「ちきしょう」。結果3位で打倒ホンダならず。今シーズンも終わり、次シーズンに向けて皆さん色々考えている事と思いますが、今年も頑張ります。



3位入賞田口選手の走り

写真提供:スピードマインド

# オールスターダートトライアル CMSC三菱車出場選手

クラス	支部	選手名
AⅢ	道北	鎌田 卓麻選手
AⅣ	札幌	宝田 芳浩選手
AⅣ	岐阜	北村 和浩選手
AⅣ	山形	赤羽 政幸選手
AⅣ	群馬	荒井 信介選手
AⅣ	岐阜	榎田 正文選手
AⅣ	浜松	伊藤 祥充選手
AⅣ	香川	高竹 優之選手
CⅢ	群馬	登坂 均選手
CⅢ	山形	八島 功敏選手
CⅢ	大阪	大竹 公二選手
D	群馬	大井 義浩選手
D	大阪	秋間 忠之選手
D	島根	国谷 益雄選手
レディース	群馬	大井 こずゑ選手
レディース	大阪	小出 久美子選手
レディース	浜松	西川 美佳選手
レディース	岩手	千代川 香選手



浜松 伊藤 祥充選手



浜松 西川 美佳選手



香川 高竹 優之選手



岩手 千代川 香選手



山形 八島 功敏選手



島根 国谷 益雄選手



道北 鎌田 卓麻選手



群馬 大井 こずゑ選手 **レディースクラス優勝**



札幌 宝田 芳浩選手



**AⅣクラス優勝**



大阪 小出 久美子選手



## トピックス

CMSC島根古藤さんの力作が、ブレイドライブ11月号に掲載されました。文章も面白いですが、マンガもいけますね。本誌で連載してみませんか!? ギャラは?

進化するコミック  
どどどコミック  
どどどコミック  
どどどコミック  
どどどコミック  
どどどコミック

この人を見よ  
やめんか

# 道北逃げ切り濃厚。群馬のV3は?

## '95チャレンジカップ

快調な道北の走りは、衰えを知りません。群馬が猛追していますが、残り1ヶ月では厳しい状況です。

上位2支部のポイント争いは、個人部門でも繰り広げられています。結果は次号をお楽しみに!

### ●クラブ別獲得ポイント

	1-5月	6-8月	9-11月	12月	合計
道北	959	788	635		2382
群馬	489	596	980		2065
大阪	809	447	282		1538
青森	297	721	222		1240
山形	413	283	417		1113
帯広	398	209	265		872
岐阜	321	294	221		836
島根	331	188	179		698
浜松	279	226	176		681
広島	264	186	183		633
香川	247	214	162		623
福島	34	171	290		495
札幌	241	78	122		441
岩手	152	118.5	129.5		400
千葉	227	0	0		227
愛知	81	18	84		183
埼玉	87	65	10		162
鹿児島	-	40	101		141
仙台	55	40	40		135
栃木	2	50	33		85

### ●ラリー・ドライバー部門

山口 修	鹿児島	121
杉山 聡	道北	110
細村 謙一	群馬	102
田口 幸宏	埼玉	91
鎌田 豊	道北	91
大井こずゑ	群馬	88
奴田原文雄	札幌	88
鎌田卓麻	道北	85
小林康弘	帯広	82
小林光敏	道北	81

### ●ラリー・ナビゲーター部門

川村 知恵	道北	142.5
細村 祐子	群馬	102
伊吹 浩明	帯広	81.5
加藤 徹	岩手	69
中村 洋次	帯広	48
金子 誠司	群馬	37
横山 浩	札幌	35
生井 重男	帯広	34
山口 利久	群馬	33
長谷川好洋	道北	30

### ●ダートトライアル部門

秋間 忠之	大阪	709
小出久美子	大阪	633
荒井 信介	群馬	486
大井こずゑ	群馬	293
宝田 芳浩	札幌	282
八島 功敏	山形	282
榎田 正文	岐阜	282
大井 義浩	群馬	278
北村 和浩	岐阜	276
高竹 優之	香川	274

### ●ジムカーナ部門

田口 玲	道北	384
丹羽 裕一	道北	318
小館 久	青森	250
須田 行雄	福島	242
久保田 明	青森	214
小寺 久美	道北	214
山下 亘	道北	200
宇野 慶一	青森	136
工藤 裕史	青森	126
高野 聡	福島	115

### ●レース部門

小川日出生	山形	165
玉本 秀幸	浜松	108
高橋 滋	仙台	84
山川 敏宏	山形	50
西戸 岳也	岩手	28
川口 法行	栃木	19.5
吉沼 昭彦	栃木	16

### ●ポイントのつけ方

ポイント	リタイアには予選不通過も含む											
	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	1
B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0.5

A = 全日本選手権(含む、レディースクラス)、地方選手権(除く、レディースクラス)  
但し、ダートトライアルにはオールスターダートトライアル  
ジムカーナにはJAF CUPジムカーナ  
レースにはフォーミュラ・ミラージュ、ミラージュカップ、NI耐久レースを含む  
B = それ以外の競技会